

地域の認知症相談窓口

高齢者の生活に関する相談窓口を以下の地域包括支援センターがそれぞれお住まいの地域で担当しています。お住まいの地域のセンターにお気軽にご連絡ください。地域包括支援センターでは認知症地域支援推進員を配置しています。



認知症の人や家族に
優しいまち「えびな」
～認知症ケアパス～

担当地区	名称	電話番号・FAX	所在地
柏ヶ谷、東柏ヶ谷、望地	海老名東 地域包括支援センター	電話 046-292-1411 FAX046-292-1412	東柏ヶ谷 3-5-1 ウエルストーン 相模野 102号
上郷、下今泉、上今泉 扇町、泉、めぐみ町	海老名北 地域包括支援センター (えびな北高齢者施設内)	電話 046-231-6061 FAX046-231-6396	上今泉 4-8-28
勝瀬、中央、 国分南、国分北	海老名中央 地域包括支援センター (海老名総合病院内)	電話 046-234-2973 FAX046-234-2974	河原口 1320
中新田、さつき町、 河原口、社家	さつき町 地域包括支援センター (医療センター内)	電話 046-234-7226 FAX046-234-7277	さつき町 41
大谷、大谷南、大谷北 国分寺台、浜田町	国分寺台 地域包括支援センター	電話 046-233-8881 FAX046-233-3542	浜田町 25-14 フジビル 1F
中河内、中野、今里 本郷、杉久保南 杉久保北、杉久保 上河内、門沢橋	海老名南 地域包括支援センター (えびな南高齢者施設内)	電話 046-238-7691 FAX046-238-7682	杉久保南 3-31-6
海老名市全域	海老名市基幹型 地域包括支援センター (市役所社会福祉協議内)	電話 046-233-0111 FAX046-235-0191	勝瀬 175-1



認知症が気になる方へ

認知症は、誰にでもかかる可能性がある脳の病気です。
国内では、認知症の人は2012年462万人を超えており、
2025年には約700万人に増加すると推計されています。
加齢に伴う物忘れとは違い、進行していくと生活にも支障をきたすようになります。根治するものではありませんが、早期発見により進行を遅らせることが可能な場合があります。
まずは認知症を知り、今後について考えてみましょう。



物忘れの違い

加齢による物忘れ	認知症による物忘れ
体験の一部を忘れる (物の置き場所を忘れる)	体験した全体を忘れる (食事をした事を忘れる)
ヒントがあると思い出せる (顔は浮かぶが名前が思い出せない)	ヒントがあっても思い出せない (目の前の人が誰なのか思い出せない)
人・時間・場所などが判別できる (誰と何時どこで何をするか判断できる)	人・時間・場所が分かりにくい (自分のいる場所が解らなくなる。)
日常生活の妨げにならない (日々の生活を過ごせる)	日常生活に支障が出る (自分の家に帰れなくなるなど)

早期診断・早期治療が大切

すごく不安だったけど
生きる希望が湧いてきたぞ。
海老名市に住んでいて
良かった。

進行をゆるやかにする薬を飲みながら、
介護保険や市の高齢福祉サービスを利用して、
お一人で暮らしている認知症の人
もたくさんおられますよ。

海老名市は認知症の人にやさしいまち、
みんなが助けてくれるから安心してくだ
さいね。



神奈川県相談窓口（年末年始・祝日は対応できません。）

名称	相談先	内容
厚木保健福祉事務所 保健予防課	電話 046-224-1111 (代) 月～金 9時～17時	認知症について不安や悩みを持つ高齢者やその家族を対象に医療受診の必要性の有無や認知症の問題行動に対応する対応方法について、相談に応じます。
かながわ 認知症コールセンター	電話 0570-0-78674 (令和5年10月以降は 電話 045-755-7031) 月・水 10時～20時 土 10時～16時	認知症全般（介護など）の相談窓口です。 認知症の症状や対応方法、介護者の心身の問題、 介護保険サービスの利用など、様々な相談に応じます。
厚木佐藤病院	電話 046-247-1211 (代) 水・日を除く 9時30分～16時	専門的な医療相談ができる、認知症疾患医療センター（地域拠点型）の一つです。
えびな脳神経クリニック	電話 046-204-8817 平日 9時～17時	専門的な医療相談ができる、認知症疾患医療センター（連携型）の一つです。

成年後見制度の相談窓口（年末年始・祝日は対応できません。）

名称	相談先	内容
えびな成年後見・ 総合相談センター	電話 046-200-9833 月～金 9時～17時	成年後見制度とは認知症などにより、判断能力が不十分な方を法律面や生活面において支援する制度です。介護保険に関する契約や財産管理について、相談に応じます。



若年性認知症の相談窓口（年末年始・祝日は対応できません。）

名称	相談先	内容
若年性認知症 コールセンター	電話 0800-100-2707 月～土 10時～15時 水 10時～19時	厚生労働省が介護研究・研修大府センターに委託し、若年性認知症の相談を行っています。
湘南東部総合病院	電話 0467-83-9091 月～土 9時～17時	県指定の若年性認知症コーディネーターが配置されています。

認知症の人や家族に優しいまち「えびな」

海老名市認知症ケアパス

認知症が気になったら専門医療機関で検査を受けるのがおすすめです。

【認知症ケアパスとは】

認知症の進行度に応じて利用できるサービスや変わっていく生活をイメージしやすいように1枚のマップにしたものです。

【誰かの見守りがあれば日常生活はほぼ自立】

服薬管理・電話・訪問者の対応が困難

【日常生活に介護が必要】

着替え、食事、トイレなどが困難



認知症の人におすすめ ～海老名市の高齢福祉サービス～

〈利用方法〉 お住まいの地域包括支援センターまたは地域包括ケア推進課へご相談ください。

はいかい高齢者位置探索システム

認知症の高齢者などが行方不明になった場合に、早期発見できるシステムを利用して事故などを未然に防ぎ、家族が安心して介護できる環境の整備が図れます。

〈利用対象者〉 在宅で概ね65歳以上で顕著に行方不明となる可能性のある方

〈内容〉 24時間体制で対象者が身につけている小型の発信機からの電波を受診することにより、位置を特定し、事故などを未然に防ぎます。

〈費用〉 所得税非課税世帯は無料、課税世帯は月額960円

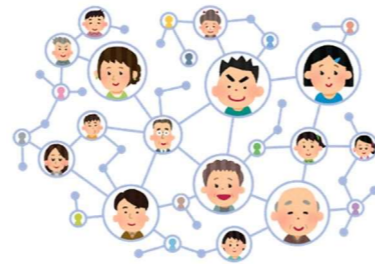


認知症等行方不明者 SOS ネットワークシステム

このシステムは、行方不明となった高齢者を一刻も早く発見できるよう、市役所、厚木保健福祉事務所、海老名警察署などが相互に協力して、検索を行うネットワークです。

〈利用対象者〉 概ね65歳以上で行方不明となる恐れのある方

〈登録方法〉 所定の登録申込書に必要事項を記入し、本人の顔写真と全身写真を添付し、お住まいの地域包括支援センターか地域包括ケア推進課へお申し込みください。登録した情報は、市役所のほか、海老名警察署と厚木保健福祉事務所でも共有保存し、検索依頼の発生時に備えます。



〈費用〉 無料

QRコード付きシール

「認知症等行方不明 SOS ネットワークシステム」登録者に QR コード付きシールを配布しています。QR コードをスマートフォンなどで読み込んでいただくと、市のホームページにつながり、対応方法や連絡先が表示されます。

〈シールを見つけたら〉
シールを付けている方は行方不明になっている可能性があります。



〈家族の方へのお願い〉

◇高齢者がいなくなったら、最寄りの警察署と市役所へ連絡するとともに、思いあたる所へ連絡してください。家族が本人を発見した場合には、警察署と市役所へ連絡をしてください。

◇本人と思われる方を保護した場合は、ご家族へ連絡をします。

◇本人の衣類や持ち物などには、住所・氏名・連絡先を必ず明記してください。

◇日ごろから、ご近所や親せきの方々に協力や理解が得られるよう、事前にお話をしておいてください。

あんしん補償事業とは？

「認知症等行方不明者 SOS ネットワークシステム」に登録された方は、賠償責任保険に加入することができます。

本人のケガや第三者に負わせた損害に備えるもので社会福祉協議会が保険契約者となり、最大3億円が補償されるものです。被保険者本人の保険料負担はありません。

認知症等行方不明者 SOS に登録されている方全員にご案内いたします。

【症状チェックリスト】認知症初期症状の例～自覚がないのが認知症の特徴～

☆下記の一つでも当てはまることがある方、物忘れを感じ、日常生活の中で心配や不安なことがある方は気軽に「えびな在宅医療相談室」(TEL 046-231-8650 FAX 046-204-7350)にご相談ください。

- 人や物の名前が出てこない
- 同じことを何度も聞いてしまう
- 些細なことで怒りっぽくなった
- 予定していたことを忘れてしまう
- 慣れた道で迷ってしまうことがある
- 自宅の鍵をかけたかはっきり思い出せない
- いつもやっていることがおっくうだと感じる
- 物をどこにしまったのか時間がたっても思い出せない
- 最近何だかやる気が出ず好きなことをやらなくなった
- テレビなどのリモコンの使い方が分からなくなる時がある。

出典：人生100年時代

～楽しく健やかに年を重ねるために、早めの対応が大切です～(2022)

えびな在宅医療相談室

よい認知症ケア：寄り添う

よいケアは、その人に「寄り添う」ことです。

私と一緒に座り、私の目を見て、手に触れて、耳を傾けることです。……その人達とつながっている感覚がほしいのです。スタッフ自身もそこにいたいと思うことが必要です。耳を傾けてもらったという感覚が得られれば、私は自分の価値が認められている、あなたとの関係性が成立していると感じます。


他者との共感が、混乱と混沌におぼれていく私たちをつなぎとめてくれます。

出典：クリスティーン・ブライデン：認知症とともに生きる私、大月書店、2016
群馬大学大学院保健学科研究科 山口晴保氏の講演スライド

認知症にはいくつかの種類があります。


アルツハイマー型

主に記憶障害や見当識障害、判断力の低下などがおこる。



脳血管性

脳血管障害の大きさが認知症の程度に影響する。




前頭側頭型

人格が変化して、思いのままに行動しようとするなどの症状がある。

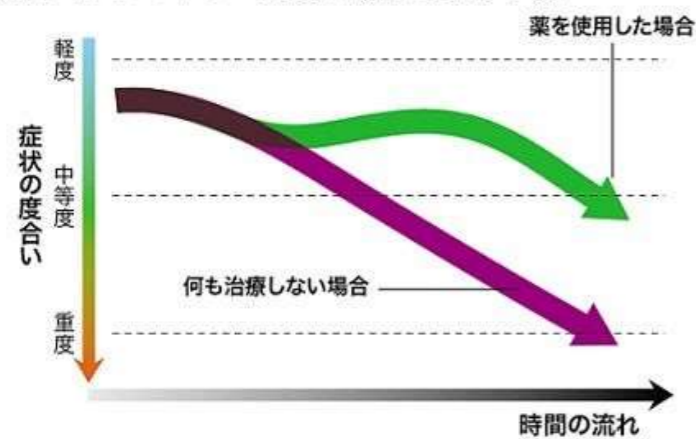
レビー小体型

初期症状に幻覚を訴えることが多い。睡眠障害も多い。



他にも正常圧水頭症や硬膜下血腫による認知症などもあり、治療で回復するものもあります。早めに受診して「どのタイプの認知症か」わかると、さまざまな対策が可能です。

【図】アルツハイマー型認知症の進行の例



(注)服薬により吐き気や食欲不振などの副作用が生じる場合があります。

最も多いタイプの認知症はアルツハイマー型ですが、左の図のように、早期に薬を使用した場合に、進行を遅らせることが可能な場合があります。ただし、根治するものではありません。

地域の人・認知症の人・家族が集うサロン 一覧

サロンは、みんなが楽しく集う場です。「おしゃべりだけでゆっくり過ごすタイプ」「食事やお茶をメインとしたカフェタイプ」「介護予防やストレッチなど簡単な運動をメインで行うタイプ」などがあります。閉じこもらずに地域とつながること、楽しい時間を過ごすことで認知症の進行を遅らせることができます。各地域のサロンの詳しい内容は生活支援コーディネーター（社会福祉協議会 046-232-1600）又は、地域包括支援センター（裏面）まで、お問い合わせください。



北部地区	<ul style="list-style-type: none"> ☆ふれあいかみいまサロン ☆スカイハイツふれあいサロン ☆上郷ストレッチサロン ☆あさまサロン ☆テラスさろん 	<ul style="list-style-type: none"> ☆かがやきサロン ふれあい茶話会 かがやき食堂 ☆コミュニティサロン 手芸サロン のびのびやる会 ☆ニチイ介護予防サロン ☆サロンかけはし ☆ゆいまーる 	<ul style="list-style-type: none"> ☆健康ストレッチサロン ふれあい茶話会 ☆手芸ひまわりサロン 月曜サロン ☆さくらサロン ☆クラルテサロン ☆東建ふれあいサロン ☆サロンつながり
西部地区	<ul style="list-style-type: none"> ☆水ようサロン 月曜サロン ☆にこにこサロンさつき ☆ひだまりサロン（中新田コミセン） ☆さつき町体操教室 	<ul style="list-style-type: none"> ☆喫茶すまいる ☆みんなのサロン ☆街中サロン戸崎 ☆大谷ふれあいの里 ☆ふれあいサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ☆大谷茶話会 健康ストレッチ 大谷囲碁、将棋同好会 健康麻雀を楽しむ会
南部地区	<ul style="list-style-type: none"> ☆今里サロン ☆杉久保ストレッチサークル ☆社家・今里ストレッチサークル ☆門沢橋ストレッチサークル ☆えびな南カフェ ☆スマイルサロン社家 ☆社家サロン 	<ul style="list-style-type: none"> ☆サロン北集会所 ☆ほのぼのサロン ☆ルネサロン ☆おこじゅうサロン ☆望地ふれあいサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ふれあいおしゃべり ☆南原サロン ☆中央サロン ☆わいがやサロン

海老名市の相談窓口（年末年始・祝日は対応できません。）

名称	相談先	内容
海老名市役所 地域包括ケア推進課	海老名市勝瀬 175-1 電話 046-235-4950	認知症が予防できる教室や地域包括支援センターへの紹介、市の高齢福祉サービスなどを総合的に提供しています。
えびな在宅医療相談室	電話 046-231-8650 FAX046- 204-7350 renkei@abelia.ocn.ne.jp 月～金 9時～17時	医療と介護の連携がスムーズに行えるよう、本人や医療機関関係者からの相談に応じ、情報提供や調整などの支援を行います。
海老名市認知症 初期集中支援チーム	えびな在宅医療相談室（上記）や各地域包括支援センター（裏表紙）でご相談を受け付けます。	多職種のチームで専門医療機関の受診、介護サービスに関する説明や利用の支援、認知症の状況に応じた助言などを行います。

海老名市内の認知症の相談ができる医療機関を調べるホームページ

名称	ホームページアドレス	内容
えびケアナビ （海老名市医療・介護・生活資源総合検索システム）	https://chiiki-kaigo.casio.jp/ebina （ホームページのアドレスです） インターネットの検索サイトで「海老名市 総合検索」と検索しても出てきます。	該当ページから、認知症のカテゴリーを選択してください。インターネットで見つからない時、インターネットのご利用ができない方は右のページのえびな在宅医療相談室にご相談ください。

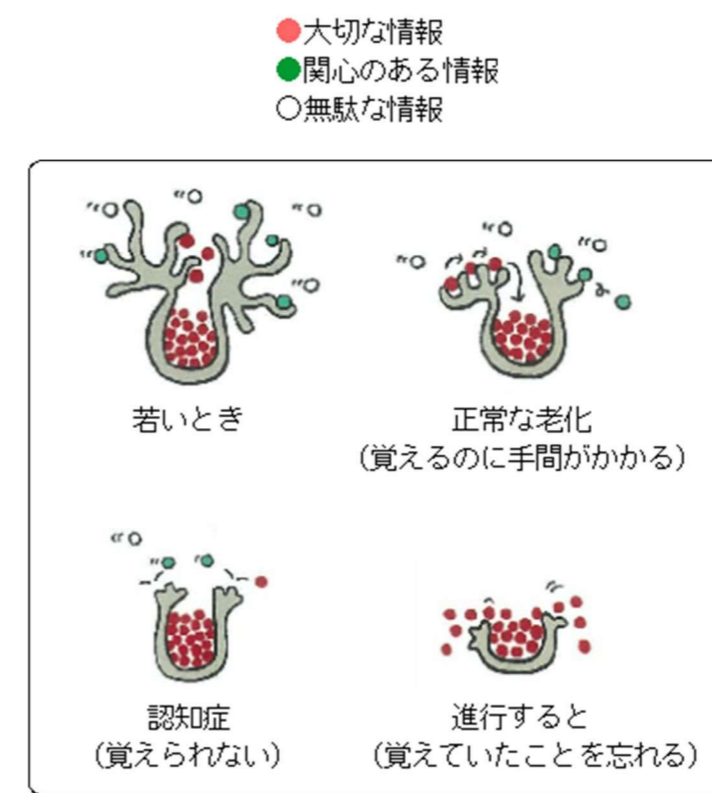
介護者・家族の会・本人の会

（年末年始・祝日は対応できません。介護者の会は個人宅なので時間帯にご配慮ください）

名称	相談先	内容
介護者の会 四つ葉のクローバー	電話 046-233-0458 代表 市川ひろ子	介護を体験している方や体験者の方が集い、勉強会や情報交換を行っています。 主に勝瀬文化センターにて活動
公益社団法人 認知症の人と家族の会	神奈川県社会福祉センター 電話 045-548-8061 （月・水・金 10時～16時）	介護家族が集まり、介護の相談、情報交換、勉強会などを行い、「一人だけじゃない」「仲間がいる」と多くの介護者や認知症の本人が参加されている「つどい」を開催しています。

認知症は脳の病気です。

どんな症状がおこるのでしょうか？！



人間には、目や耳が捕らえたたくさんの情報の中から、関心のあるものを一時的に捕らえておく器官（海馬、仮にイソギンチャクと呼ぶ）と、重要な情報を頭の中に長期に保存する「記憶の壺」が脳の中にあると考えてください。いったん「記憶の壺」に入れば、普段は思い出さなくても、必要なときに必要な情報を取り出すことができます。

しかし、年をとるとイソギンチャクの力が衰え、一度にたくさんの情報を捕まえておくことができなくなり、捕まえても、「壺」に移すのに手間取るようになります。「壺」の中から必要な情報を探し出すことも、ときどき失敗します。年をとってもの覚えが悪くなったり、ど忘れが増えるのはこのためです。それでもイソギンチャクの足はそれなりに機能しているので、二度三度と繰り返しているうち、大事な情報は「壺」に納まります。ところが、認知症になると、イソギンチャクの足が病的に衰えてしまうため「壺」に納めることができなくなります。新しいことを記憶できず、さきほど聞いたことさえ思い出せないのです。さらに、病気が進行すれば、「壺」が溶け始め、覚えていたはずの記憶も失われていきます。（出典：厚生労働省政策レポート「認知症を理解する」）



認知症になると記憶力の低下や判断力などが衰える症状を「**中核症状**」といいます。

中核症状のために周囲とうまく適応できなくなったり、心身が衰えたり、不安や焦燥感が強くなったり、妄想や幻覚などの症状を「**周辺症状**」といいます。